

2022年子どもと集う1日

#子どもデザイン展

清須市はるひ美術館

3月16日[wed] - 3月20日[sun]

10:00-18:00 (最終日は17:00まで) 入場無料

※入場券は不要

主宰 子どもデザイン室

後援 名古屋芸術大学

表紙 design / 井上 誠 / 佐倉 耕 / 角 瑠子 / 高木 春樹 / 中村 勇樹 / 井ノ口 幸子 / 山崎 幸子 / 山崎 幸子 / 山崎 幸子

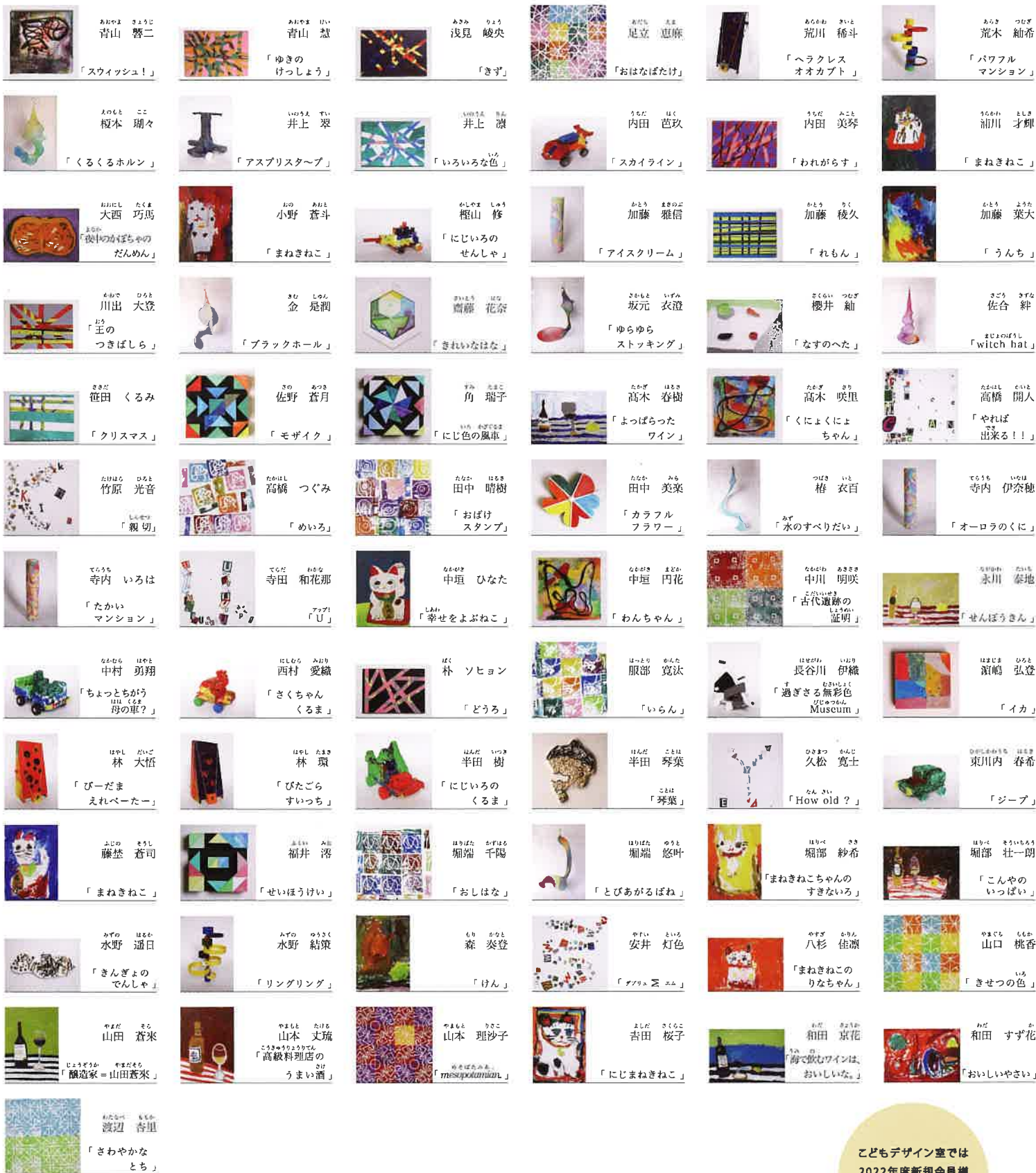
会場 清須市はるひ美術館

入場券 無料

観覧禁止

散り損みず





きよすし びじゅつかん
清須市はるひ美術館

〒452-0961 愛知県清須市春日夢の森1番地
tel/052-401-3881 fax/052-408-2791 <http://www.museum-kiyosu.jp/>

【電車の場合】JR東海道本線清洲駅下車「きよすあしがるバス」夢広場はるひ下車
JR東海道本線稲沢駅下車 タクシーで約10分、名鉄本線新清洲駅下車 タクシーで約10分
【お車の場合】名二環清洲東ICより約5分、名神高速道路一宮ICより約20分、名古屋高速道路一宮から春日出口より約5分
名古屋から清洲出口より約5分 ※駐車場をご利用いただけます。(104台・無料駐車場)

お問い合わせ先
遊びと創造の場 こどもデザイン室
〒452-0821 愛知県名古屋西区上小田井2丁目143番地
www.re-designproject.com / 090-9190-4102 / c.designroom@gmail.com

こどもデザイン室では
2022年度新規会員様
アルバイトスタッフを
募集しております。



Follow us on
@c.designroom
こどもデザイン室

詳しくは
お問い合わせ
先まで



ともに

「あらきさん」
「あらきまめ」「あらびょん」「あらきー」「あらあら」「あらちゃん」
アトリエの子どもたちは様々な呼び方で私を呼びます

私は皆さんに「先生」と呼ばせていません
と言ってもまじめな人や世の中に道徳的な方、節度を重んじる方ほど先生、先生と私を呼びます
先生の様なそんな清潔潔白な人間でも無く、なにより私は先生という仕事が一番なりたくなかった仕事でしたので、皆さんにはちょっと混乱してしまうかもしれませんが「あらきさん」と呼んで頂く様お願いしています

ノーベル物理学賞を受賞された故、益川敏英氏も生徒に御自身の事を「益川先生」とは呼ばせず「益川さん」と呼ばせていたそうです
学生が教員をさん付けで呼ぶことによって、教員も学生も「研究者として対等」である、ということを自他ともに意識させることが重要であり、特に学生にとっては、明らかに経験も知識も多い教員と対等であると宣言することによって、実質でも対等になると背伸びする効果があると言われていました
また教員の方も、名前でなく実質によって自然と尊敬されるべきものであると、いつも若手に提言されていたようです

対等の位置にいる事は共に育ち合うアトリエでの「共育」と繋がります

しかし親や教育者は何故だか子どもへ寄り添うことが出来なくなります
自身の思いや考え方を押し付けるかのように子どもへそのエネルギーをぶつけます

自己表現した作品は結果が大切なわけではありません
制作活動の中で何を感じとり自分自身で学んでいくかその子自身が活動している過程こそが最も大切なのです
親は子どもにその過程を問いただしますがそれは言葉には出てくるものではないのです
最も奥深い、大人には分からない掛け替えのない何かをその時子どもは感じ取っています

私達に出来る事は成長しようとする意思に沿って、力が思う存分に発揮できる環境を用意する事だけです
そこに思いが向かい、子どもを信じ共に楽しむのです

一緒に遊ぶのです

どうするか？そうするんだ！へえ～凄いなあ！面白い！じゃあお母さんはこうしてみようかな！
安心や快感、微笑は健やかな成長の土台となります
どっしりと構え寄り添って下さい

子どもには自身で進む力が有る事を信じましょう

そしてその先には親と子の愛（調和）に包まれた笑顔が生まれるはずですよ

この未曾有の暗いコロナ社会の中、明るくより自由になれる日が必ず来る事を信じています

遊びと創造の場 こどもデザイン室
代表 荒木 マサカズ

3/16 [wed] - 3/20 [sun]
10:00～18:00 (20[sun]は17:00まで)
1F 展示室 1,2 2F オープン展示スペース

2021年4月～2022年3月までの間に制作された3歳～15歳の子どもたちによる絵画、版画、レリーフ、オブジェ、全体作品等約160点を展示します。加えて夏に行われたサマーキャンプの映像や、幼児による一日アトリエ「忍者屋敷二〇二一」の映像を放映します。

大人や先生など教える側が、子どもたちに出来るだけ干渉せず生き生きと自由に創造的に制作した作品です。答えが多様に満ちた創造的な世界を一人でも多くの方が本展に足をお運び頂き、その成果をご高覧頂ければ幸甚に存じます。



もり 木とひとのともいき プロジェクト

3/16 [wed] - 3/20 [sun]
10:00～18:00 (20[sun]は17:00まで)
1F 展示室 2

泥まみれになることも厭わず田植えをする。樹木の精霊との対話。手が悴むことも忘れて雪遊び。幼少期にしか出来ない「遊び」と自然が生み出す「多様性と調和」が関係性を持った時、無限の可能性を見出します。遊びは心を満たした後の成長に関係していきます。

お米や作物を育て、その物を用いて料理をすることも彼らにとって遊びであり学びです。目的を持って成し遂げられる時、大きな達成感と感性が育くまれます。美しい山々の風景の中で子どもたちが生き生きと活動し仲間と共に成長していく姿を映像にて放映致します。

リ・デザイン こども Re+design Laboratory 2022

3/20 [sun] 10:00～12:00/13:00-16:00

高学年・中学生クラスのメンバーが日常の見方を変え、遊びを通して人と人が関係し合えるモノや、自分の作品として持ち帰ることが出来るワークショップに Re+design しました。

●各ワークショップ詳細は下記をチェック



QRコード又はブログにアクセスすると映像にて詳細をご覧頂くことが出来ます。

<https://ameblo.jp/re-designdiary/>



●事前予約制です

材料費：500円
申込：QRコード又は以下HPにアクセスし登録をしてください。

<https://forms.gle/C3FzK7TBSMJS2jZA>
定員になり次第締め切らせて頂きます

制作者 竹原 光壽 / 高橋 閑人 / 寺田 和佳那 / 久松 寛士 / 安井 灯色



ひらばた
ペロバク

狙え！
パラシュート!!

little映画館をつくろう

ねらっ
うって
運勢シューティング!!